



平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月10日

上場会社名 青山商事株式会社
 コード番号 8219 URL <http://www.aoyama-syouji.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青山 理

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員企画管理本部長 (氏名) 財津 伸二 TEL 084-920-0050

四半期報告書提出予定日 平成29年8月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	60,322	1.2	4,575	14.7	4,873	26.6	2,911	21.9
29年3月期第1四半期	59,605	6.4	3,988	8.6	3,849	18.4	2,389	14.3

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 3,917百万円 (483.2%) 29年3月期第1四半期 671百万円 (81.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	56.40	56.39
29年3月期第1四半期	44.91	44.90

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	382,621	229,655	59.3
29年3月期	391,369	233,666	59.0

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 226,771百万円 29年3月期 230,873百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		50.00		115.00	165.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		50.00		120.00	170.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 29年3月期配当金の内訳 普通配当 100円00銭(第2四半期末50円00銭、期末50円00銭) 特別配当 65円00銭(期末65円00銭)
 30年3月期配当金(予想)の内訳 普通配当 100円00銭(第2四半期末50円00銭、期末50円00銭) 特別配当 70円00銭(期末70円00銭)

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	111,100	4.7	4,300	37.6	4,700	52.7	2,600	57.4	50.51
通期	260,700	3.1	22,500	11.3	23,100	9.6	12,200	5.5	237.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.9「四半期連結財務諸表及び主な注記 (3)四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期1Q	55,394,016 株	29年3月期	55,394,016 株
----------	--------------	--------	--------------

期末自己株式数

30年3月期1Q	3,921,227 株	29年3月期	3,437,602 株
----------	-------------	--------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期1Q	51,633,439 株	29年3月期1Q	53,194,929 株
----------	--------------	----------	--------------

(注)期末自己株式数には、従業員インセンティブ・プラン「株式給付信託(J-ESOP)」制度に係る信託財産として、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が保有する当社株式(30年3月期1Q 185,700株、29年3月期 185,900株)が含まれております。また、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(30年3月期1Q 185,833株、29年3月期1Q 185,900株)。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
経営成績に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

経営成績に関する説明

《セグメント別業績》

(単位：百万円)

	売 上 高				セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△))			
	当第1四半期	前第1四半期	増減額	前年同期比(%)	当第1四半期	前第1四半期	増減額	前年同期比(%)
ビジネスウェア事業	43,285	43,626	△341	99.2	3,678	3,288	390	111.9
カジュアル事業	4,440	4,586	△145	96.8	69	△24	94	—
カード事業	1,238	1,119	118	110.6	527	409	117	128.7
印刷・メディア事業	2,774	2,744	29	101.1	92	22	69	406.6
雑貨販売事業	4,088	4,043	44	101.1	259	266	△7	97.0
総合リペアサービス事業	3,088	2,936	152	105.2	△53	65	△118	—
その他	2,261	1,490	770	151.7	△7	△43	35	—
調整額	△853	△941	88	—	9	4	5	211.6
合計	60,322	59,605	717	101.2	4,575	3,988	586	114.7

(注) 1. セグメント別売上高、セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△)) はセグメント間取引相殺消去前の数値であります。

2. 当第1四半期連結会計期間より「青山洋服商業(上海)有限公司」及び服良(株)の子会社である「上海服良工貿有限公司」を、ビジネスウェア事業に含めております。

当第1四半期連結累計期間(平成29年4月1日から平成29年6月30日まで)におけるわが国経済は、企業業績や雇用情勢に改善が見られ、景気は緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、中国をはじめとする新興国等の経済の先行き、政策に関する不確実性などから、依然として不透明な状況で推移いたしました。

このような状況下、当社グループでは、ビジネスウェア事業の収益力、競争力の強化を目指した諸施策を実施するとともに、グループ経営の基盤整備と収益力強化を図ってまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループにおける業績は以下のとおりとなりました。

売上高 603億22百万円(前年同期比101.2%)

営業利益 45億75百万円(前年同期比114.7%)

経常利益 48億73百万円(前年同期比126.6%)

親会社株主に帰属する四半期純利益 29億11百万円(前年同期比121.9%)

セグメント別の営業の状況は、以下のとおりであります。

なお、以下の事業別売上高、セグメント利益又は損失は、セグメント間の内部取引相殺前の数値であります。

《ビジネスウェア事業》

[青山商事(株)ビジネスウェア事業、ブルーリバーズ(株)、(株)エム・ディー・エス、(株)栄商、服良(株)、青山洋服商業(上海)有限公司]

当事業の売上高は432億85百万円(前年同期比99.2%)、セグメント利益(営業利益)は36億78百万円(前年同期比111.9%)となりました。

当事業の中核部門であります青山商事(株)のビジネスウェア事業につきましては、「洋服の青山」を2店舗、「ザ・スーツカンパニー」を1店舗、レディース専門店「ホワイト ザ・スーツカンパニー」を2店舗出店するなど着実な出店を実施するとともに、営業面では「洋服の青山」において、引き続き「EXILE TRIBE(エグザイルトライブ)」をイメージキャラクターに起用し、テレビCM等によりスーツ等の機能性を訴求することで、新たな顧客の取り込みを図りました。商品面では「接触冷感」「高通気性」といった夏場の快適機能を備えたドレスシャツや、梅雨時期に対応した防水ビジネスシューズなど高機能商品の品揃えを強化いたしました。

レディースにつきましては、サマーフォーマルの種類を過去最大の13種類、着数についても前年比1.5倍の品揃えで販売を強化した結果、好調に推移いたしました。

なお、4月から6月までの3ヶ月間のメンズスーツの販売着数は前年同期比95.5%の471千着、平均販売単価は前年同期比98.8%の27,790円となりました。

こうしたことなどから、ビジネスウェア事業の既存店売上高は前年同期比96.9%となりました。

当第1四半期（4月～6月）の店舗の出退店等につきましては、以下のとおりであります。

＜ビジネスウェア事業における業態別の出退店及び期末店舗数（平成29年6月末現在）＞ （単位：店）

業態名	洋服の青山	ネクストブルー	ザ・スーツカンパニー	ユニバーサルランゲージ	ブルー エグリージオ	ユニバーサルランゲージメジャーズ	ホワイトザ・スーツカンパニー	合計
出店（4月～6月）	2	0	1	0	0	0	2	5
閉店（4月～6月）	1	0	0	0	0	0	0	1
期末店舗数（6月末）	806	8	50	14	1	4	10	893

（注）「ザ・スーツカンパニー」には「TSC SPA OUTLET」を、「ユニバーサルランゲージ」には「UL OUTLET」を含めております。

《カジュアル事業》〔青山商事(株)カジュアル事業、(株)イーグルリテイリング〕

当事業につきましては、カジュアル市場の低迷等により、売上高は44億40百万円（前年同期比96.8%）となる一方、粗利率や経費の改善などから、セグメント利益（営業利益）は69百万円（前年同期はセグメント損失（営業損失）24百万円）となりました。

当第1四半期（4月～6月）の店舗の出退店等につきましては、以下のとおりであります。

＜カジュアル事業における業態別の出退店及び期末店舗数（平成29年6月末現在）＞ （単位：店）

業態名	青山商事(株)カジュアル事業		(株)イーグルリテイリング
	キャラジャ	リーバイスストア	アメリカンイーグルアウトフィッターズ
出店（4月～6月）	0	0	0
閉店（4月～6月）	0	0	0
期末店舗数（6月末）	9	9	34

（注）「アメリカンイーグルアウトフィッターズ」にはアウトレット店を含めております。

《カード事業》〔(株)青山キャピタル〕

当事業につきましては、ショッピング収入の増加などから、売上高は12億38百万円（前年同期比110.6%）、セグメント利益（営業利益）は5億27百万円（前年同期比128.7%）となりました。

なお、平成29年5月末現在の「AOYAMAカード」の有効会員数は411万人となりました。

《印刷・メディア事業》〔(株)アスコン〕

当事業につきましては、売上高は27億74百万円（前年同期比101.1%）、セグメント利益（営業利益）は、印刷用紙など原材料価格が低下したことなどにより、92百万円（前年同期比406.6%）となりました。

《雑貨販売事業》〔(株)青五〕

当事業につきましては、高額商品（150円～500円）の取扱い増加などにより、売上高は40億88百万円（前年同期比101.1%）となる一方、6月の出店に係る経費等の増加などから、セグメント利益（営業利益）は2億59百万円（前年同期比97.0%）となりました。なお、平成29年5月末の店舗数は117店舗であります。

《総合リペアサービス事業》〔ミニット・アジア・パシフィック(株)〕

当事業につきましては、出店等により売上高は30億88百万円（前年同期比105.2%）となる一方、事業拡大（サービス多角化、出店加速）を図るための先行投資の増加などから、セグメント損失（営業損失）は53百万円（前年同期はセグメント利益（営業利益）65百万円）となりました。

当第1四半期（4月～6月）の店舗の出退店等につきましては、以下のとおりであります。

＜総合リペアサービス事業における出退店及び期末店舗数（平成29年6月末現在）＞ （単位：店）

地域	ミスターミニット			合計
	日本	オセアニア	その他	
出店（4月～6月）	8	4	0	12
閉店（4月～6月）	1	1	0	2
期末店舗数（6月末）	306	270	32	608

《その他》〔青山商事(株)リユース事業、(株)glob、(株)WTW〕

その他の事業につきましては、「セカンドストリート」、「焼肉きんぐ」、「ゆず庵」、「ダブルティー」をそれぞれ1店舗出店したことなどから、売上高は22億61百万円（前年同期比151.7%）となる一方、(株)WTWにおけるのれん償却や、出店経費等の増加などから、セグメント損失（営業損失）は7百万円（前年同期はセグメント損失（営業損失）43百万円）となりました。

当第1四半期（4月～6月）の店舗の出退店等につきましては、以下のとおりであります。

＜その他の事業における業態別の出退店及び期末店舗数（平成29年6月末現在）＞ （単位：店）

業態名	青山商事(株)リユース事業		(株)glob		(株)WTW	
	セカンドストリート	ジャンブルストア	焼肉きんぐ	ゆず庵	ダブルティー	ダブルティーサーフクラブ
出店（4月～6月）	1	0	1	1	1	0
閉店（4月～6月）	0	0	0	0	0	0
期末店舗数（6月末）	11	2	25	10	5	1

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	50,382	51,136
受取手形及び売掛金	19,233	14,156
有価証券	20,099	15,199
商品及び製品	50,898	50,525
仕掛品	1,095	1,025
原材料及び貯蔵品	1,451	1,580
営業貸付金	53,939	54,989
その他	6,956	7,465
貸倒引当金	△255	△253
流動資産合計	203,801	195,825
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	61,362	60,910
土地	36,948	37,056
その他（純額）	11,529	11,274
有形固定資産合計	109,840	109,241
無形固定資産		
のれん	12,736	12,607
その他	8,428	8,378
無形固定資産合計	21,164	20,985
投資その他の資産		
敷金及び保証金	27,122	27,130
その他	29,359	29,363
貸倒引当金	△28	△26
投資その他の資産合計	56,452	56,466
固定資産合計	187,457	186,692
繰延資産合計	109	102
資産合計	391,369	382,621
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,355	15,236
電子記録債務	17,030	18,130
短期借入金	2,050	1,850
未払法人税等	4,350	2,152
賞与引当金	1,795	768
その他	14,161	12,028
流動負債合計	58,742	50,166
固定負債		
社債	24,000	24,000
長期借入金	58,500	62,500
退職給付に係る負債	6,070	6,115
ポイント引当金	3,115	3,082
その他	7,274	7,102
固定負債合計	98,960	102,799
負債合計	157,702	152,966

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	62,504	62,504
資本剰余金	62,533	62,533
利益剰余金	134,291	131,228
自己株式	△13,701	△15,666
株主資本合計	245,628	240,600
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,829	2,409
繰延ヘッジ損益	21	5
土地再評価差額金	△16,142	△16,098
為替換算調整勘定	△162	122
退職給付に係る調整累計額	△301	△268
その他の包括利益累計額合計	△14,755	△13,829
新株予約権	8	6
非支配株主持分	2,785	2,877
純資産合計	233,666	229,655
負債純資産合計	391,369	382,621

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	59,605	60,322
売上原価	26,399	26,413
売上総利益	33,205	33,908
販売費及び一般管理費	29,216	29,333
営業利益	3,988	4,575
営業外収益		
受取利息	43	29
受取配当金	77	108
不動産賃貸料	269	275
為替差益	—	43
その他	115	151
営業外収益合計	506	609
営業外費用		
支払利息	38	32
不動産賃貸原価	230	220
デリバティブ評価損	342	35
為替差損	4	—
その他	29	23
営業外費用合計	645	311
経常利益	3,849	4,873
特別利益		
固定資産売却益	40	0
特別利益合計	40	0
特別損失		
固定資産除売却損	11	17
減損損失	73	204
特別損失合計	85	221
税金等調整前四半期純利益	3,804	4,651
法人税等	1,305	1,612
四半期純利益	2,499	3,039
非支配株主に帰属する四半期純利益	109	127
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,389	2,911

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	2,499	3,039
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△629	579
繰延ヘッジ損益	△61	△15
為替換算調整勘定	△1,171	281
退職給付に係る調整額	34	32
その他の包括利益合計	△1,827	878
四半期包括利益	671	3,917
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	562	3,794
非支配株主に係る四半期包括利益	109	122

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年5月12日開催の取締役会決議により、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式の取得を実施し、当第1四半期連結累計期間において自己株式が1,999百万円増加しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における自己株式は15,666百万円となっております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、重要性が増したため、当第1四半期連結会計期間において、青山洋服商業(上海)有限公司及び上海服良工貿有限公司を連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(重要な後発事象)

会社法第165条第2項の規定による定款の定めに基づく自己株式の取得

当社は、平成29年8月10日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することを決議いたしました。

1. 自己株式の取得を行う理由

平成27年1月28日に公表いたしました中期経営計画「CHALLENGE 2017」及び「株主還元方針に関するお知らせ」に定めております株主還元方針に則り、株主還元のさらなる強化の一環として、実施するものであります。

2. 取得内容

(1) 取得対象株式の種類	当社普通株式
(2) 取得し得る株式の総数	60万株(上限) (発行済株式総数(自己株式を含む)に対する割合 1.08%)
(3) 株式の取得価額の総額	20億円(上限)
(4) 取得期間	平成29年8月21日～平成29年9月22日
(5) 取得方法	東京証券取引所における市場買付